

令和6年度 美馬市立三島中学校 学校評価総括表

美馬市立三島中学校長 松永 貴史

(学校教育目標) 命を大切にし、自主的・自立的・創造的な力を備え、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。
--

校訓 強く…強い意志と強健な身体を育む 正しく…正しい人権意識と生き方を培う 美しく…美しく豊かな心と創造性を養う
--

学級数	生徒総数	教職員数
5	40	16

令和6年度 重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの命を守り抜く教育の推進・充実 ・わかる授業のさらなる展開 ・郷土愛を育む教育の推進・充実 ・自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる人権教育の充実 ・ワークライフバランスを意識した働きがいのある職場環境づくりの推進 ・人材育成が常にできる学校風土の醸成
---------------	---

めざす生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ意欲に満ちた生徒 ・自他の人権を尊重する生徒 ・思いやりのある心豊かな生徒 ・たくましく生きる生徒 ・粘り強く、誠実に努力する生徒
--------	--

重点目標	評価項目	具体的な方策・手立て	自己評価	結果の考察及び次年度改善策
子どもの命を守り抜く教育の推進・充実	・いじめを許さず、全ての生徒が安心して通うことのできる学校である。	・生徒会いじめ防止委員会を中心にいじめ防止の広報活動を行い、スマホによるトラブル防止に取り組む。 ・生徒の成長を全職員で見守り、認め、褒める。 ・生活ノートを活用し個に応じた指導や声かけを励行する。 ・生活アンケートを月1回実施し把握する。	B	生徒会を中心にした広報活動やポジティブ行動支援、人権学習により、いじめを許さない風土が醸成されてきた。 アンケート結果を職員全体で共有し、生徒理解を深め細やかな支援を心がける。
	・生徒個々が自らの生活を振り返り、望ましい生活習慣を確立する。		A	
わかる授業のさらなる展開	・学力向上及び個に添った学力向上の充実に取り組む。	・学年の枠を取り払い、生徒が主体的に取り組む「GOGOタイム」を設定する。 ・本時の目標を明確に生徒に周知するとともに授業の最後には本時の振り返りを行う。 ・1人1台端末を活用した授業づくり研修。	B	T.Tや個別支援を行い生徒に寄り添った支援ができた。 1人1台端末を有効活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて再度学校全体で授業改善を図る。
	・職員研修を充実させ、授業改善を図る。	・研究授業「学びウィーク」の設定。	A	
人権教育の充実	・教育活動全体を通じて、同和問題を中心とする人権教育に取り組む。	・識字学級を訪問し、今なお残る厳しい現実を目に向け自分事として捉える。	A	どの学年も同和問題を中心とした人権学習に取り組み、人権意識を向上させることができた。引き続き取り組んでいきたい。
	・人権劇を通してあらゆる人権問題の解決に取り組む。	・人権劇を通してすべての人権が尊重され、あらゆる人権問題の解決に向けて取り組む。	A	
郷土愛を育む教育	・三島の自然・歴史・文化を学ぶ機会を増やし、三島の良さを職員・生徒が認識する。	・小中合同の行事を充実させる。 ・地域行事に必ず職員が参加する。	A	地域の行事や小中合同の行事にはできる限り参加し、地域と学校が一体となって参加した。総合的な学習で地域の方に協力を得て、地域の食べ物や歴史について学び郷土愛を育んだ。
	・三島が「好き」と言える生徒を育てる教育活動を推進する。	・地域の人材を活用する。 ・自然・文化等に直接ふれる機会を持つ。 ・防災学習を充実させる。	A	
働きがいのある職場環境づくりの推進	・会議を精選する。	・働き方改革を意識した勤務となるよう、それぞれが見通しをもつようにして、会議前には事前に議題を示して資料を回覧しておく等、短時間で効率的に行うよう工夫する。	A	ICTを活用した会議の効率化により、子どもと向き合う時間を確保できた。 今後も報・連・相ができる雰囲気づくりに務める。
	・風通しのよい職場環境をつくり、職場の協働・同僚性を高める。	・常に報・連・相ができる雰囲気をつくる。 ・クリーンデスク	B	
人材育成が常にできる学校風土の醸成	・OJTを効果的に機能させる。	・若手とベテラン教員が共に働き、学びながら研修を深め教員の資質向上につなげる。	B	校内研修の充実に向けた取り組みを推進し、職員の資質向上に努める。

(評価基準：A 十分に達成できた B おおむね達成できた C やや目標を下回った D 改善を要する)

◆学校関係者評価委員会の評価

人権教育が学校教育の中心となっており引き続き取り組んでほしい。きめ細やかな指導や少人数を生かした活動をしていただき感謝している。また、小規模校ならではの特徴を生かした教育を引き続きお願いしたい。

◆評価結果と次年度についての校長所見

保護者、地域の方の理解と支援のおかげで、本校教育や特色ある学校行事は成り立っている。引き続き、「ふるさとみしま」のつながりを深め、来年度も学校・保護者・地域が「ともに」歩んでいける学校づくりを目指していく。